

e ラーニング教材の製作に関するアンケート結果

N=9

1. どのような e ラーニング教材を使って授業をしたいか、お答えください。

☐ 学生が自宅や PC 教室で自学自習できる教材：4

☐ 教員が授業の中で副教材的に利用できる教材：7

☐ 遠隔地にいる学生と対話可能な Web カメラなどを利用した教材：2

☐ その他

[	・新校舎の語学ラウンジで利用できる教材 ・ブレンド型
---	-------------------------------

2. 利用してみたいと思う MOODLE の機能についてお答えください(何個でも選択可)。

☐ 学生の出席管理：4

☐ 学生の学習進捗管理：7

☐ テスト：3

☐ アンケート：2

☐ 教材のアップロード：6

☐ 授業に関係する Web ページのリンク表示：5

☐ 掲示板（例：学生との対話，授業内容のやり取り）：6

3. 「ユニバーサル・コミュニケーション教養教育」にふさわしいと思われる教材・授業について、自由にお書きください。

1) 視覚障害などの障害を持つ学生への教育を円滑化する教材

2) 日本語学習教材

3) 異なる文化に対する理解や共存をすすめるには、実地研修、実物を手に触れたり見たりする、異文化体験をするなどが、効果的である。授業の中にそうしたことを取り込む必要がある。

・ 留学生からは、日本語に慣れないうちはレジュメや資料などに読み仮名をふってほしいと要望されることが多い。多言語表記などが要所、要所で可能となれば、留学生によっては授業が理解しやすいものになる。

・ 教える内容や教材、方法を吟味して、より普遍的で単純明快で本質的な授業をおこなう努力が教員に求められる。

4. 「ユニバーサル・コミュニケーション教養教育」のための教材製作とは別に、eラーニング化したい教材があれば、ご自身の授業にとらわれずお書きください。

- 1) 「国際関係論」「国際協力論」「国際移動論」
 - 2) アグリビジネス教育プログラムのための教材
 - 3) 国語、数学、地理、歴史などのリメディアル教材
 - 4) 英検準2級取得に資するような文法事例の過去問、練習問題教材
 - 5) 1年次演習
- ・ WIKIを取り入れてみたことがあるのですが、ページの管理が大変でした。下手をすると2チャンネルに近くなってしまうので、ディスカッションをうまく交通整理する方法を教えてください。
 - ・ 日本語のソフトで、学生がレポートをウェブページからコピーペーストした場合にチェックできるソフトができたとききました。このソフトを本学でも導入していただけると助かります。
 - ・ 必修科目である「国際関係入門」、各コースの基礎・推奨科目となるような科目（つまり複数の教員が関わり合って、共同で国際学部の基礎教育を構築するという意味で）。どなたが交替してもある程度一定の内容がフォローされるという意味で、eラーニング化は便利だと思うからだ。
 - ・ 国際ビジネスコースでは、新年度から新アグリビジネス教育プログラムを立ち上げます。「日本の「食」と「農」を考える」をテーマに様々な活動を行います。その一つとして、「味噌を通した食育」と「味噌の国際化」プログラムを始めます。E-learning をどのように使えるか未知数ではありますが、まずはお料理教室（味噌汁の作り方に始まる）から各地の味噌の歴史や文化の研究、千葉県内や信州などの味噌どころの探訪を経て、最終的には20カ国くらいの言葉（留学生の母国語）で味噌（日本食）文化と味噌料理の作り方を紹介するCooking Book（印刷物とe-learning教材の両方）を作る計画を立てています。何かできるでしょうか。

特任教員からの授業提案

3. 2) →

- ① 異文化理解に関する日本語教材(できれば敬愛の先生方の論文)を日本語、ひらがな、表記した上で、分からない単語に出会ったら、その語を選択してボタン操作などをすると各国語辞書(英語、日本語、中国語、韓国語、その他東南アジア語)が立ち上がり、かんたんに読み進められる、という教材。

3. 3) →

- ② 海外スクーリングで撮影した画像等、並びに学生による国際体験記をアーカイブ化し、異文化理解の助けにする、海外研修前の事前学習教材にする。卒業生からも、新たな情報を寄せてもらうなどすれば、情報交流の場になる可能性もある。